

安楽寺だより

第4号

紙面内容

- 2面 教区お持ち受け大会開催される
- 3面 若院、会館で結婚式
- 4面 仏教豆知識（お花）

編集・発行 安楽寺住職 吉田 和良
 名古屋市瑞穂区井戸田町一の八〇
 電話 〇五二（八四一）二六〇六

如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

骨まで生きても謝すべし

親鸞聖人御和讃

報恩講にお出かけ下さい



安楽寺本堂

私たちは真宗門徒が宗祖と仰ぐ親鸞聖人は、一二六二年(弘長二年)十一月二十八日に九十年のご生涯を終えられました。宗祖をはじめ、念仏のみ教えに生きられた先達に思いを致し、その恩徳に感謝し報いるためのおつとめが報恩講です。

お念仏のみ教えを聴聞し、私たち一人一人が、自らの生活を振り返る一年でもっとも大切な御仏事です。

寺ではお世話方の皆様が花瓶や鶴亀・金香炉などを一つ一つていねいにおみぎをします。また、仏前にお供えする

お華東は、米粉を蒸して練ることから束ねて盛ることまで一日がかりで仕上げます。本堂外回りには、五色幕(写真)を張り、内陣のお飾りやお供えなどを整えて、報恩講をお迎えいたします。

「おとき」作りは大根やひりょうず、しいたけ、里芋などの材料の買物から下ごしらえ、煮付・盛付まですべて手作りで。飽食時代と言われる今日ですが、お世話方が役割分担し、こころを(2面へ)

22組本山報恩講団体参拝

日時 11月25～26日
 集合 安楽寺会館前(午前7時)
 会費 28,000円(1泊4食)
 締切 11月18日(木)

25日午前中の法要に参拝し、
 午後は大龍馬展を見学します。
 26日は天台宗総本山・比叡山延
 暦寺の参拝、京都伏見で坂本龍
 馬のゆかりの地を訪ねます。
 来年宗祖親鸞聖人 750 回御遠忌
 を迎えます。東本願寺御影堂の
 御真影の前で勤められる報恩講
 に是非お出かけ下さい。

(1面より) 込めて作られたおときを、参詣された方に食していただくことは、お念仏のこころを伝えて下さった多くの先達に思いをいたす大切なひとときです。
 さあ皆様、報恩講にぜひお出かけ下さい。
 安楽寺では十一月十二・十三日、名古屋別院は十二月十三日～十八日、本山東本願寺では、十一月二十一日～二十八日に報恩講が勤まります。ご参詣をお待ち申し上げます。



本山御影堂前

名古屋教区御遠忌お待ち受け大会開催

十月二日、名古屋別院本堂で教区お待ち受け大会が東別院本堂にて開催されました。一千名を超える参詣者の中で、大谷暢頭御門首の執刀による帰敬式が執り行われ、五十五名の皆様が受式されました。

参詣者全員でお勤めされた後、高史明氏から「不安に立つー親鸞聖人に聞く」と題した記念講演が行われました。聖人の御和讃『よしあしの文字をもしらぬひとはみな まことのこころなりけるを』(自然法爾章)を手がかりに現代に生きる私たちの不安の内実に迫るお話でした。その後、三名が加わってパネルディスカッションがあり、恩徳讃を唱和して大会が終わりました。



真宗門徒になるための本
 大垣教務所発行 ご希望の方進呈



会館前



本堂外



御本尊前



九月二十六日、安楽寺会館で若院・吉田昌史と神田由香里さんの結婚式を挙行致しました。大勢の御門徒様・ご近所の皆様に祝福され無事終えることができましたのは、ご協力頂きました皆様のお陰と深く感謝致しております。今後共宜しくお願い申し上げます。



仏教豆知識

第4回



仏花

お内仏(お仏壇)のお給仕のなかにお花(華)があります。お花は私たちの感覚(五感)のなかで「眼」に応ずるものにあたります。お花をプレゼントしたり、お見舞いなどにお花を頂いたりすると、お花を通してお互いのこころが通いあうことがあります。

お花(華)は、仏様から私たちへの教えとしてお荘厳(おかざり)いたします。生花は時間が経つと枯れることから「無常」を教えるべく、ですから咲いて美しい面を合掌する者に向けて供えるのです。花の枯れる無常のありさまが私たちの死ぬる無常を知らしめてくれます。「今あるいのちを精いっぱい

生きよ」の教えに、「いのちある限り精いっぱい生かさせていただきまます」と、おかげさまで生かさせて頂いている歓喜のお念仏を申すのであります。

お花は仏様の教えとしてお供えするので

- ・とげのある花
- ・つるになって咲く花
- ・においのきつい花
- ・造花

は、仏花に適さないので使いません。

お内仏には、四季折々の木に咲く花や、草花などをとりまぜて、生き生きとした花をかざるように心がけて挿してください。清い美しい花は人の心を美しくします。そして綺麗に立てたのだから、仏様が拝めるように前卓の左側にお荘厳して下さい。

暑い長い夏も彼岸を境に終わり、気がついて見れば本格的な秋を迎えました。

十一月も後半になると、「冷えますね」「山には雪が降りましたよ。寒いはずですね」という挨拶も聞かれるようになります。

この時期には、あちらこちらの真宗寺院で報恩講が勤まります。「きいみよーむりよーじゅによらいー」と称えるお勤めを家族そろってできる家庭が増えることを念願しております。

来年三月に始まる宗祖親鸞聖人の御遠忌法要に向けて、いよいよ気を引き締めて取り組まなければと思う毎日です。